

高校日本史 飛鳥時代

レベル 1 (流れを整理)

1, ヤマト政権

- ・ 4 世紀から 5 世紀、中国のまわりでいろんな民族が力をつけた。
- ・ 朝鮮では、馬韓から (1)、辰韓から (2)、ヤマト政権も (3) 地方に (4) 資源を求めて進出。
- ・ (5) の碑文から、倭は (6) との交戦に負けたらしい。
- ・ 5 世紀より (7) からさまざまな文化を学ぶ。(8) は養蚕と機織りを伝え、秦氏を名乗る。(9) は、『論語』と『千字文』を伝え、西文氏を名乗る。(10) は、史部を管理し、「帝記」・「旧辞」など『古事記』・『日本書紀』の材料を残し、東漢氏を名乗る。
- ・ 538 年百済の聖王より (11) が伝わる。
- ・ 日本で漢字の使用は、(12) と (13) で見られる。
- ・ 朝鮮への優越権を中国の南朝 (宋) に認めてもらうために使者を送った。これらの倭王をまとめて (14) と呼ぶ。

2, 物部氏対蘇我氏

- ・ 5 世紀から (1) たちは氏 (うじ) という血縁関係で結束していたので、大王は氏ごとに (2) という地位・役職を与えた。これを (3) 制度という。
- ・ 奈良盆地には中央豪族の臣 (おみ)・連 (むらじ) の他、職務を担当する (4) やその下の部 (べ) という集団がいた。地方豪族は (5) に任じられ、豪族の私有地を田荘 (たどころ)、私有民を部曲 (かきべ) といった。
- ・ 527 年筑紫国造 (6) が新羅と結んで反乱を起こした。(6) の乱の後、地方豪族を抑え、土地と民衆を大王の直轄とした。
- ・ 6 世紀初め、大伴氏が (7) を失って失脚。
- ・ 6 世紀中ごろ、仏教に反対の (8) と仏教受容派の (9) が対立し流血の末、(9) が政権を握る。
- ・ 6 世紀中ごろ、(10) の南下をきっかけに、領地拡大をめぐり (11) と (12) が戦争する。
- ・ 589 年 (13) が中国を統一し、高句麗など各地に攻め領土を拡大させる。

高句麗、加耶、稲荷山古墳出土鉄剣、氏姓、渡来人、新羅、鉄、物部氏、王仁、弓月君、好太王、倭の五王、磐井、仏教、隋、阿知使主、江田船山古墳出土鉄刀、伴造、国造、百済、蘇我氏、豪族、

3, 聖徳太子の時代

- ・聖徳太子（厩戸王）と（1 ）は、大陸の先進的な文化を積極的に 取り入れる政策を行う。
- ・冠位十二階は、氏族単位でなく（2 ）の能力に応じてランクをつける。
- ・憲法十七条は、最初の法であり、豪族に国家の（3 ）であること、（4 ）を重んじることを明記している。
- ・607 年遣隋使小野妹子を派遣したとき、手紙に中国と（5 ）であると主張するも、留学生を送りながら、894 年まで臣下の礼をとる。
- ・630 年に最初の遣唐使を送った時の留学生のうち、（6 ）と（7 ）は、のち大化の改新で政策立案に関わる。

4, 大化の改新から大宝律令

- ・唐は（1 ）制を整え、高句麗に侵攻したので、周辺諸国は（2 ）の確立を急いだ。
- ・645 年、中大兄皇子と中臣鎌足らが（3 ）で蘇我蝦夷と入鹿を滅ぼし、（4 ）を始める。
- ・翌年の（5 ）では、豪族の田荘・部曲を廃止して、（6 ）に移行すること、地方に国と評を置き、（7 ）を作り、新しい税制の実施を宣言する。
- ・663 年（8 ）で敗れた後、大宰府の北に（9 ）と西日本各地に朝鮮式（10 ）を築き、兵士として（11 ）を置く。
- ・667 年中大兄皇子は、（12 ）に都を移し、天智天皇として即位し、最初の戸籍である（13 ）を完成させる。
- ・（14 ）で勝利した天武天皇は、（15 ）で即位し、官僚制を整え、豪族の身分を（16 ）に編成し、国史の編纂、富本銭の発行などを、行う。
- ・天武天皇の政策を引き継いだ（17 ）は、（18 ）を施行し、戸籍の（19 ）を完成させ、中国式の都城にならった（20 ）への遷都を行った。

乙巳の変、壬申の乱、水城、庚午年籍、庚寅年籍、藤原京、中央集権、改新の詔、
公地公民、旻、個人、仏教、対等、蘇我馬子、飛鳥浄御原宮、戸籍、山城、
近江大津宮、官僚、高向玄理、防人、大化改新、飛鳥浄御原令、八色の姓、

レベル 2（文化史）

1, 飛鳥文化

- ・飛鳥文化は、初めての（1 ）で、飛鳥の地に（2 ）が営まれた。
- ・渡来人の（3 ）は、法隆寺**釈迦三尊像**など北魏様式の仏像をつくる。
- ・高句麗の僧、（4 ）は紙・墨・絵具を伝えた。
- ・古墳に代わり寺院の建立が、豪族のステータスになる。
- ・蘇我馬子は（5 ）、聖徳太子は四天王寺と（6 ）を建立する。

2, 白鳳文化

- ・白鳳文化は7C 後半～8C 初めの文化で、（1 ）・（2 ）の時代が中心。
- ・（3 ）から伝えられた唐初期の影響をうけた仏教文化。
- ・律令制の完成にともない、（4 ）にも、漢字文化と儒教思想が受け入れられる。
- ・代表的な建築には薬師寺（5 ）があり、彫刻には、薬師寺（6 ）と（7 ）
仏頭などがある。
- ・古墳文化の終末期、大王陵には（8 ）が見られる。
- ・壁画は、法隆寺金堂の壁画と、（9 ）古墳の壁画がある。

曇徴^{どんちよう}、仏教文化、八角墳^{はっかくふん}、薬師三尊像^{やくしさんそんぞう}、天武天皇^{てんむてんのう}、鞍作鳥^{くらつくりのとり}、飛鳥寺^{あすかでら}、興福寺^{こうふくじ}、高松塚^{たかまつづか}、東塔^{とうとう}、
宮都、法隆寺、持統天皇、新羅、

飛鳥時代の仏像には、北魏様式（中国の北朝）と南朝・百済様式がある。
南朝様式の代表例が、広隆寺半跏思惟像（みろくぼさつぞう）がある。



レベル 3 (年表問題)

・聖徳太子までの時代

西暦	天皇 (大王)	できごと
391	☐	倭軍が百済・新羅を攻撃 (1) 碑文
421~478	☐	中国南朝に倭王が使いを送る (2)
☐	応神天皇?	弓月君・王仁・阿知使主ら渡来人が来る
513	☐	五経博士が百済から五経を伝える
512	継体天皇	大伴金村 (おおとものかなむら) が加耶 4 県を百済に譲る
527	☐	筑紫国造 (3) が起きる ⇒ 528 鎮圧
538	欽明天皇	百済の聖王が (4) を伝える
540	☐	大伴金村が失脚
552	☐	蘇我稲目と物部尾興が、(5) の受容で争う
562	用明天皇	(6) が加耶を滅ぼす
587	☐	厩戸王と (7) が、物部守屋を滅ぼす
588	☐	蘇我馬子が (8) の造宮を始める
592	崇峻天皇	蘇我馬子が崇峻天皇を暗殺
593	推古天皇	厩戸王が推古天皇の (9) となる
602		百済の僧 (10) がカレンダーを伝える
603		(11) を制定
604		憲法十七条を制定
607		小野妹子を (12) に派遣、厩戸王は (13) を建立
608		妹子、留学生 (14) らとともに再び派遣
610		高句麗の僧 (15) が紙・墨・絵具を伝える
618		隋が滅び、(16) が中国を統一

磐井の乱、飛鳥寺、隋、曇徴、観勒、唐、冠位十二階、好太王、仏教、蘇我馬子、法隆寺、
摂政、高向玄理、

ワカタケル大王 = 武 = 雄略天皇、と言われるが、そんなもんかーくらいで OK。

大化改新から大宝律令まで

西暦	天皇	できごと
630 640	舒明 じよめい	犬上御田鍬ら第 1 回 (1) を派遣 高向玄理らが帰国
643 645	皇極 こうぎよく	蘇我入鹿が聖徳太子の子 (山背大兄王) を自殺に追い込む 中大兄皇子・中臣鎌足らが蘇我氏を滅ぼす (2)
646	孝徳 こうとく	最初の元号を大化とする 都を (3) に置く (4) を出す 薄葬令により、古墳の規模が位で制限される
658 660 663	斉明 さいめい	阿倍比羅夫を蝦夷に派遣 (5) が滅ぶ (6) で、唐・新羅に敗北
664～667 667	中大兄皇子	対馬・壱岐・筑紫に (7) を置き、 筑紫に (8) と大野城など朝鮮式山城を築く 都を (9) に移す
669 670 672	天智 (弘文)	中臣鎌足は (10) の姓を賜る 全国的な戸籍 (11) を作る (12) が起きる
673 675 684	天武	大海人皇子が (13) で即位 豪族の私有民部曲を廃止 豪族たちを (14) に編成
689 690 694	持統 じとう	(15) を施行する 庚寅年籍を作らせる 都を (16) に移す
701	文武 もんむ	大宝律令が完成

難波宮、飛鳥浄御原、近江大津宮、防人、庚午年籍、壬申の乱、改新の詔、遣唐使、藤原京、八色の姓、白村江の戦い、藤原、百済、飛鳥浄御原令、乙巳の変、水城、